

広島市長 秋葉忠利様

2005年1月19日

日本共産党広島市議員団

団長 皆川恵史

中森辰一

中原洋美

村上厚子

藤井敏子

岩国基地米兵による漁船威嚇事件についての申し入れ

江田島市沖の瀬戸内海で5日、米海兵隊岩国基地の警備艇が漁をしていた漁船に接近し、銃口を向けて船長を威嚇するという事件が発生しました。現場は日米地位協定で船舶の航行が制限される「提供水域」から12キロ以上も離れた海域です。日本側に通報もせず、「提供水域」から約12キロも追尾した米軍警備艇の今回の行為は、明らかに日米地位協定を逸脱するものです。

威嚇を受けた漁船「ひさゆき」の静間久尚船長さんは「心臓が止まるかと思った」「いつ撃たれるかと思い、足がガタガタ震えた。恐怖感が消えず、漁にも出れない」と語っています。一方、米兵は「銃を肩に掛けていて銃口を向けていない」と主張し、静間さんが所属する同市能美町の鹿川漁協を訪れた岩国基地の報道部長も遺憾の意を伝えたものの、銃口をむけたかどうか、地位協定に違反しているかどうかなどの説明も謝罪もなかったと伝えられています。

外務省は、追尾自体は違法性なく正当とし、細田博之官房長官は14日の記者会見で、静間さんと米兵との間で銃口を向けたかどうか食い違う点について調査もせず米軍側の言い分をうのみにする発言をしています。これでは再発を防ぐこともできません。

市長におかれては、江田島沖とはいえ、平和都市ひろしまの目前で引き起こされた事態であることを重く受け止められ、市民を守る立場から以下の措置をとられるよう求めます。

1. 米軍岩国基地と政府に対し徹底した真相究明を求めること。
2. 事件現場は「提供水域」から12キロメートル以上も離れているのであり、日米地位協定違反は明らかです。関係者の処分と謝罪、再発防止を求めること。
3. NLPの岩国基地への移設について強く反対すること。

以上